



「千本ダム 設計図」 大正2年(1913年)～3年(1914年)

松江市の水道は、大正2年に給水人口5万人、一日最大給水量6,300m³で事業認可を得、大正3年11月に事業に着工した。

計画は、「忌部川の山に相接する溪間を締切り、堤防を築き、貯水池を設け、その山中及び付近に於ける溪谷の水を集め・・・」と概要に記されている。

千本ダムは、堤防の高さ65尺(19.7m)、堤長438尺(132.7m)、粗石コンクリート造りで有効貯水量は751万立方尺(208,976m³)の規模で計画。

取水口は2か所。